

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年10月25日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年10月25日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【3号機復水貯蔵タンク原子炉注水系の供給流量計の指示不良について】</p> <p>3号機復水貯蔵タンク原子炉注水系の供給流量計の指示が、注水総流量約4.5m³/hのところ7.0m³/hになっていることを確認。</p> <p>通常監視は、炉心スプレイ系注水ライン流量計と原子炉給水系注水ライン流量計の合算値(約4.5m³/h)で監視しており、運転に影響なし。</p> <p>今後、原因調査・点検予定。</p>	GⅢ	10月17日
2	<p>【1号機放水口水位計の指示不良について】</p> <p>1号機放水口水位計の指示が継続的に下降していることを確認。</p> <p>Webカメラにて実水位に変化がなかったことから、水位計の指示不良と推定。</p> <p>原因は、経年劣化と推定。</p> <p>今後、該当水位計を交換予定。</p> <p>水位計は、放水路浄化設備の運転状況確認のために使用されるものであり、現在、設備運転予定はされていないため、水位計指示不良に伴う影響なし。</p>	GⅢ	10月19日
3	<p>【1号機原子炉格納容器水位計の原子炉水位高(L7)の誤動作について】</p> <p>1号機原子炉格納容器水位は原子炉水位低(L1)であったが、原子炉水位高(L7)の動作を確認。</p> <p>調査の結果、原子炉水位高(L7)の誤動作と判断。</p> <p>現在は復帰しており、監視可能な状態。</p> <p>原因は、1号機炉注停止試験等にて発生した結露水による一時的な誤動作と推定。</p> <p>なお、1号機原子炉格納容器水位計は来年度交換予定。</p>	GⅢ	10月19日
4	<p>【5号機シャワードレンタンクの西側壁配管貫通部の流入水について】</p> <p>5号機シャワードレンタンクの西側壁配管貫通部の流入水を確認。</p> <p>流入水を分析した結果、放射能検出限界値未満を確認。</p> <p>このため、貫通部の流入水は、雨水と判断。</p> <p>今後、当該流入箇所止水を実施予定。</p>	GⅢ	10月19日
5	<p>【固体廃棄物貯蔵庫9棟換気空調系の排気バグフィルタ(B)差圧の管理値超過について】</p> <p>固体廃棄物貯蔵庫9棟換気空調系の排気バグフィルタ(B)差圧の管理値超過を確認。</p> <p>管理値はフィルタ交換目安であること、および、当該排気系統は2系統あるため、切り替えることで換気空調系の運転に影響なし。</p> <p>今後、フィルタを交換予定。</p>	GⅢ	10月18日